

(別紙5)

整 理 番 号 2023P-037

補 助 事 業 名 2023年度 自転車競技の普及促進及び競技力向上に資する 補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 ツール・ド・おきなわ協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自転車競技の発展に資する普及促進及び発展を図り、地域振興や公益の増進に寄与すること。

(2) 実施内容

第35回ツール・ド・おきなわ2023大会の開催 (<http://www.tour-de-okinawa.jp>)

UCI公認レースは国内10、海外4チームの全14チーム80名、レース部門ではUCI公認レースのほか17種目に2,195名が参加その他関連イベントの一輪車・三輪車レースを含め大会全体の参加者総数は3,176名となった。



レセプションパーティー



会場内



バリアフリーサイクリング



サイクリング 1



サイクリング 2



一輪車大会



チャンピオンレース



市民レース



ふれあいパーティー



表彰式 1



表彰式 2



会場風景

2 予想される事業実施効果

観光振興: ツール・ド・おきなわは観光客を引き寄せ、地域の美しい風景や文化を広く知らしめます。これにより、観光業の振興が期待され、地元のホテル、レストラン、地元事業者にとっては収益向上の機会となる。

地域経済への貢献: 大会に参加する選手や観客の増加により、地域経済に直接的な影響が生まれ、地元の事業者が商品やサービスを提供することで、地域全体の活気向上に期待される。

健康意識の向上: サイクリングは健康的なライフスタイルを推進する一環であり、大会に参加することで、参加者や地元住民の健康意識が高まり、運動習慣が促進していく。

コミュニティの強化: 大会は地域のコミュニティ精神を高める機会である。参加者や観客が一堂に集まり、共通の興味を共有することで、地域社会がより結束し、協力関係が深まることが期待される。

スポーツイベントの定着: 世界自然遺産に登録されたコースに使用するツール・ド・おきなわが成功すれば、今後も継続的に開催される可能性が高い。これにより、地域はスポーツイベントのホスト地としての評判を築くことができ、他のイベントや大会の誘致にも寄与することとなる。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

- ・大会HP (URL: <http://www.tour-de-okinawa.jp>)
- ・大会募集要項 (日本語版/英語版)・参加申込書 (日本語版/英語版)
- ・大会ポスター、大会プログラム、交通規制チラシ、交通規制チラシ (英語版)

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

- ・大会報告書

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名: 特定非営利活動法人 ツール・ド・おきなわ協会

(トケイエイリカクトウホクジン ツール・ド・オキナワキョウカイ)

住 所: 〒905-0009

沖縄県名護市宇茂佐の森五丁目2番地7

代 表 者: 理事長 渡具知 武豊 (トグチ タケトヨ)

担 当 部 署: ツール・ド・おきなわ大会事務局 (ツール・ド・オキナワタイギジムキョク)

担 当 者 名: 事務局長 本村 信人 (モトムラ ノブヒト)

電 話 番 号: 0980-54-3174

F A X: 0980-54-3169

E - m a i l: info@tour-de-okinawa.jp / motomura@tour-de-okinawa.jp

U R L: <http://www.tour-de-okinawa.jp>